

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 キネティック・イーエックス	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：KINETIC EX

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

MB 4in1/2

研磨剤

比較対照ボール：KINETIC PLATINUM

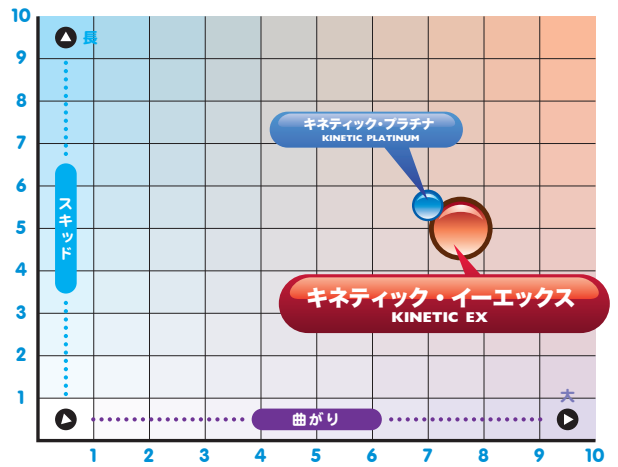
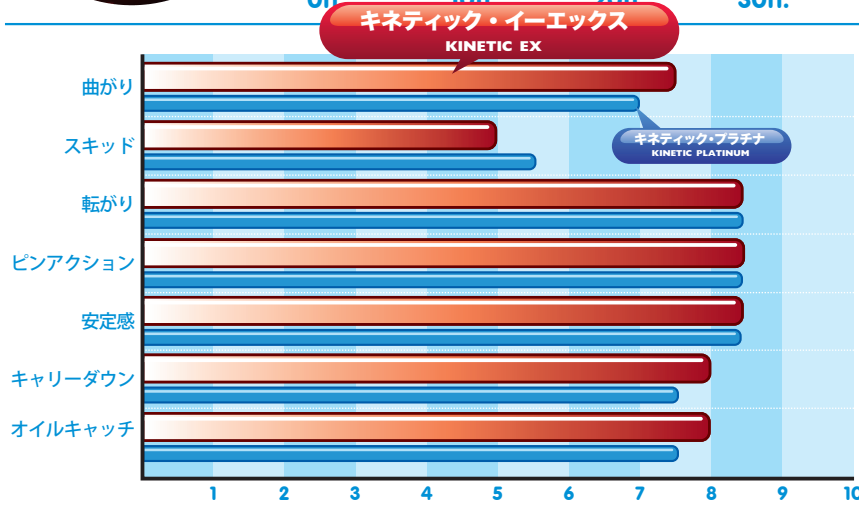
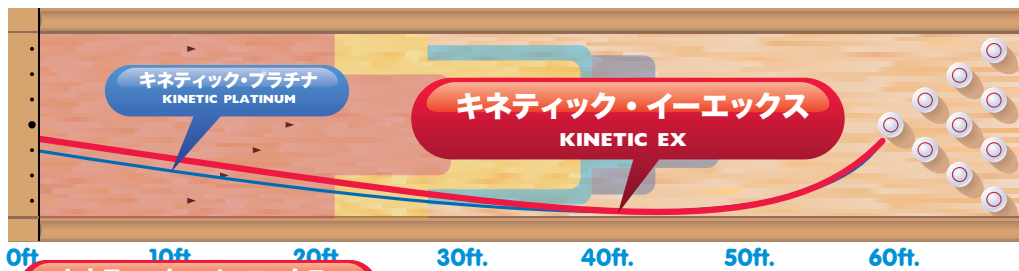
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

MB 4in1/2

研磨剤



ボールの評価

待望のキネティック最新作、キネティック EXが発売されます。前作のキネティック プラチナでも表された、ミディアム領域での抜群の操作性と汎用性はトラックのなかでも群を抜いています。その立役者となるのが、心臓部に収まっているシャトルコアです。ナンバーシステム時代にこのコアは採用され、その後改良されましたが、生産場所が変わったことで改めて搭載が可能となり、私達が望むパフォーマンスが実現されています。そのシャトルコアの代表格でもあるキネティックが新たなカバーをまとい登場します。前回採用されたカバーストックはDR-7というD(ドライ)を意識した、ややオイルが少ない傾向のコンディション向きに仕上げられていましたが、今回はQR-7というQ(クイック)という反応性の高いカバーストックを主体として仕上げられています。Qの領域のカバーストックはどちらかというドライエリアの反応性を高める目的でブレンドされているので、ドライエリアの摩擦はもちろんのこと、全体的な摩擦が強くなる傾向があります。そのためスキッドは感じますがDR-7のキネティック プラチナより若干噛みあがり感が早く感じる時もあります。このキネティック EXはオイルを長く使えば先の動きが心地よく柔らかく切れますし、若干手前から動き出しても逆にそれがもて薄くボールの操作性の良さを高めています。抜群の操作性と汎用性はキネティックの代名詞でもあります。このようなリアクションが両方においてプラスに働くのがキネティックの最大の武器と言えると思います。操作性の良さや汎用性の高さから、このボールはレポートリーに入れておかなければならないと言えるでしょう。

特記事項

シャトルコアの持つ転がりの良さとQR-7 パールの組み合わせは、ミディアムコンディションで無類の操作性をもたらします。